

【InsideOut】

2015年
vol.1 7月号

カインシン パッセ
Kaisyn Passe

チェンジリーダーのための自己メンテナンス通信

無料版

発行人：牧野真雄 発行者：株式会社カインシン 発行日：2015年6月26日 [毎月26日発行]

性格は変わる？ 性格は変わらない？

弊社カインシンのプログラムは、チームにアプローチすることで個人の「意識変革」を起こし、結果として組織の「風土改善」を行い、今よりも継続的にパフォーマンスの高いチームを作っていきます。その前提には、“人を変える”という考えがあります。

そこで、初回のコラムは、「性格は変わるか／性格は変わらないか」に焦点を当てて話をしたいと思います。では最初に伺います。あなたはどう思われますか？ 人の性格は変わりますか？ 変わりませんか？ ぜひ、ご自身の答えを出されてから先へ読み進めてください。

「営業部の新人Aな、あいつ営業むいてないね。というか、社会人としてダメだ。顧客先でろくに話ができない。顧客先ならまだしも身内の俺にもできないんだよ！ 言いたいことや意見はハッキリ言えって！ 何度も言って注意してるんだけどな！ ありやもう性格だから直らん。」

このような他人に対する評価を聞いたことはないでしょうか。あなたはどのように捉えますか？

日常の会話で私たちが“性格”と言っているものは、実はいくつかに分類することができます。ちなみに、弊社のプログラムでは“性格”を5層に分けて理解します。



深いところから、気質→性格→人格→役割→状態と分類しています。
<気質> 遺伝的要素での特性、気質によって神経ホルモンの分泌が異なる。不安になりやすい、イライラしやすいなど。
<性格> 胎児期とおよそ3歳児までに形成される特性。一定の認知パターン、情報処理パターン、認知・処理・反応までの手順など。
<人格> 観念や習慣、興味など。環境や経験、それをどう捉えたかで出来上がる。学習や教育によって形成される。
<役割> 会社員、課長、父、息子、弟、常連さん、同級生、釣り仲間など相手との関係性や社会的立場でつくられる。
<状態> 気分が沈んでいる、イライラしている、不安になっている、頭が働いていない、酔っている、などの心身の状態。

つまり、この捉え方では、“性格”と一言に言っても、変わらないものもあるし、変わるものもある、という考え方です。ただし、多くの通常の意識化での行動は、人格より上層の影響が強いものです。ですから、人格形成、人格教育という言葉があるように、人は成長することができるのです。当たり前だと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、チェンジリーダーの皆さんであれば、皆さんご自身がそう思っていることも大切ですが、部下や後輩、同僚などの周囲の巻き込んでいきたい方々がどう思っているかがとても大切です。

成長を欲している人は変化していきます。しかし、ある程度の年齢をいくとなかなか成長しなくなります。それは、人格、役割、状態が今まで経験した範囲での一定のパターン内で変化しているからです。とはいえ、その変化が起きるだけでも仕事への取り組みや職場意識、チーム状態は大きく変わります。この通信では度々“性格”のことは取り上げていこうと思います。

思考のメンテナンス Focus on 2nd territory

今あなたの焦点はどこに当たっていますか？ それは加速？減速？どちらを生みますか

変えられる	悩んでいること・解決したいこと・問題だと思うこと	変えられない

- 真ん中の「悩んでいること・解決したいこと・問題だと思うこと」を8個書き出すのが望ましいが、少なくとも5個記入する。
- 記入した項目について、それはあなた自身の言動で、○直接変えられるとができるか？ △直接は変えられないか？ に分類して、左または右の欄に○または△を記入してください。
- もうお気づきと思いますが、普段の焦点が、○が多い人は、物事は自分次第で進めることができると思い、△が多い人は、自分自身の言動では物事が思い通りにならないと感じます。

しかし、いつもは○が多い人も調子が悪いときは、△が多かったり、○が多いが見通しが立っていない状態になります。いずれも事態を改善するには焦点を変更する必要がでてきます。

朝礼・研修・指導で使えるチームエピソード 「疑問の芽をそのままにすると不信になる」



不動産賃貸エイブルのFC店として高知県に4店舗運営している、株式会社ファースト・コラボレーションの武樋社長の言葉です。同社は、全国に約800店舗ある中で、例年のごく顧客満足度NO.1店舗、個人部門でも上位を輩出しているという業績を上げながらも、社員が主役の会社をつくり、日本でいちばん大切にしたい会社大賞を受賞されています。

同社の組織図は、逆ピラミッドで表されており、社長が一番下で社員を支える構図をとっています。「社員が会社のパートナーではなく、社長が社員のパートナーになれるか」を考えているとのこと。変わっているのは組織図だけではありません。この会社には、社長室はおろか社長の机がありません。常にどこかの店舗を訪れて、その店舗の空き机でデスクワークはするそうです。徹底した現場主義のため、とにかくコミュニケーションをよく取っているとのこと。従業員が気になることは、会議やミーティングで議題に上げるよりも、普段の業務中の会話の中で解決することの方が多くそうです。このことを話されるときに使われていた言葉が、表題の、「疑問の芽をそのままにすると不信になる。だから日常の会話ですぐに疑問の芽を摘んでいく。」というものです。

社員が主役の同社は、現在は人事労務に関しても経営管理がするのではなく現場に任せており、社長が従業員に福利厚生や報酬等を与えようとする、従業員からストップがかかるのです。ノルマなし、歩合なし、命令なし、という社風を作り上げ、社長と従業員一人一人の関係という縦糸と、従業員同士の横糸がしっかりと紡ぎ合っている強い組織ができています。

同社の取り組みは、管理・命令・報告や従業員がサボらないような仕組みづくりはほとんどなく、権限移譲、協働意志、対話、いかに主体的に働きやすくなるかの仕組みづくりが大半です。先月、株式会社シェアードバリューコーポレーション様主催の四国で人本経営先端企業から学ぶ壺中100年の会で訪問させていただいた際には、信頼の前に一番の土台として必要なのが愛情だと仰ってました。そして、このような組織を作るには、そこまで人を育てるには、成長を待てることが重要だともおっしゃっていました。

何せ育成には時間がかかりますが、多くの組織は、育成する前に互いにかどちらかが信頼できなくなるという課題が起きます。武樋社長が成長を待てるのも、逆に社員が成長による成果を待てるのも、疑問の芽を摘みあって互いに不信にならない関係づくりを常日頃から行っているからに他ならないと思います。そして、その根底には愛情があるからなのだと確信を得ました。

【人づくり組つくりの学び場】

2時間でわかる **アクティブメンタルヘルスセミナー** 7.16(木)
間違いだらけのメンタル対策 従業員を幸せにする5つの必須要件
プログラム詳細

1部 『好循環ストレス組織と悪循環ストレス組織』
・なぜ悪循環ストレスが組織で生まれるのか？
・いい会社は好循環ストレスの仕組みがある
講師：(株)カインシン代表取締役 牧野真雄

2部 『心の健康とは？～知られていない心の健康のメカニズム～』
・メンタルヘルスの現状
・ワンランク上の“うつ病”理解
・大切なのは情動コントロール
・効果を上げる性格理解の方法
講師：愛媛大学講師・精神保健福祉士 上田敏子氏

うつ病、躁鬱、統合失調症などから社員を守るメンタルヘルスですが、現状されているメンタルヘルスのほとんどは、事後対策と対処療法的なもので終わっています。もちろん、事前予防に力を入れている企業も増えてきていますので、それは嬉しい限りです。しかし、まだ知られていないことも多く、もちろん解明されていないことが多いから仕方ないのですが、それでも、これだけは知っておいてほしいと考える5つのことを持って帰っていただけるセミナーをご用意しました。

ポイントは、コラムでも書いた、気質・性格です。今回登壇される上田先生は、ペルー日本人大使館人質事件で政府から依頼を受けて被害者をセラピーされた筑波大学の宗像博士のもとで学ばれた精神保健衛生のプロフェッショナルです。

概要
日時：2015年7月16日(木) 16時00分～18時00分
会場：プログレッシブパーク (松山市湊町4-3-10)
料金：お一人3500円 【限定15社】1社3名まで参加可

お読みいただきましてありがとうございます。本誌発行の想いについてお話しします。変化とスピードと多様性の現代は、過去の成功体験が通じない時代とも言えます。



この時代には、自らが変化することによって周囲を変化させていくチェンジリーダーが必要です。自らがチェンジリーダーとなり会社、組織、周囲、社会を引っ張っていくとする方々を応援するために、このコンセプトで本誌を発行することに致しました。

困難な状況に挑んでいくチェンジリーダーに必要な自己メンテナンスは、「7つの習慣®」でいうところの第7の習慣「刃を研ぐ」です。

最初のコラムでも述べましたが、人は変化する生き物です。何もせずに現状維持や成長はありえません。外部環境からくる対処すべき問題に追われ、本当に必要なことを後回しにしがちになります。

本誌を活用いただき、皆さんの果たすべき目標達成の一助となり、人生と組織、社会を輝かせるお手伝いができれば幸いです。

人生と組織、社会を輝かせる人財共育会社
Kaisyn 株式会社カインシン

愛媛本社：〒790-0807 松山市平和通2-3-7 ピースビル1F
Tel 089-968-2622 Fax 089-968-2632
Email info@kaisyn.com HP http://kaisyn.com

- ・考える、言い合える、動ける組織をつくるチームビルディング
- ・「人を大切にできる会社」づくりの組織開発支援
- ・パッション人財のキャリア開発支援
- ・自立型創造人財の共育研修

